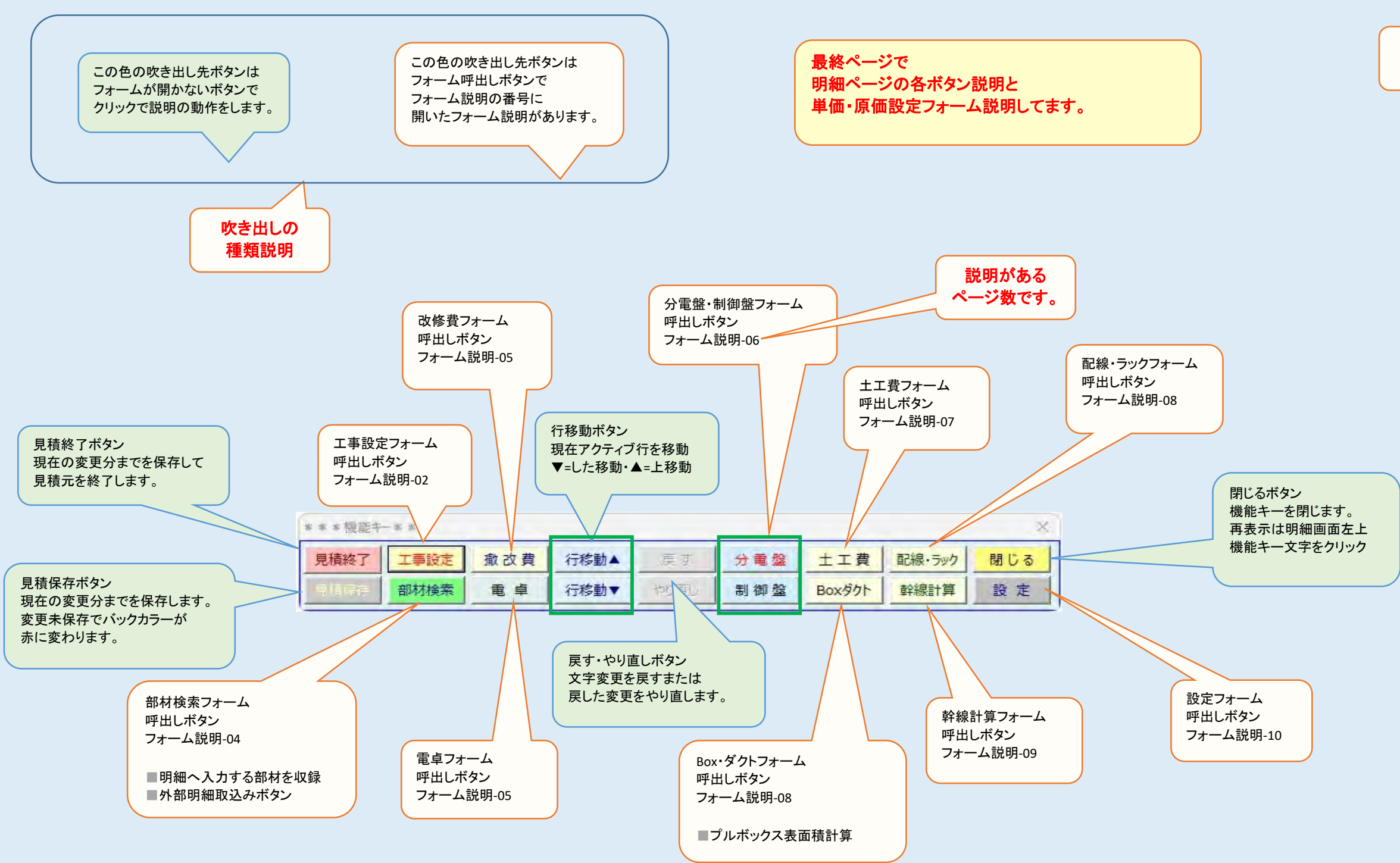


フォーム説明-01

○ 機能キーフォーム 起動時表示される。

非表示から表示するには明細画面の左、上から2番目の文字”機能キー”をクリック。

01



フォーム説明-02

○ 工事設定フォーム: 見積設定ページ

起動時表示される。

非表示から表示にするには機能キー上段、左から2番目の工事設定ボタンをクリック。

見積№表示
表示のみで文字の
変更はできません。
**連番前の変更はボックス右の
文字”見積№”をクリック。**

工事設定フォーム
ページ呼出しボタン
現在見積設定ページ
フォーム説明
工事種別 説明-02
経費 説明-03
印刷 説明-03

新規ボタン
登録見積もりがない場合
見積元へようこそメッセージから
見積№作成フォームへ移動します。
登録見積もりがある場合は
確認メッセージから新規見積№が
見積№ボックスに入力されます。

新規コピー
確認メッセージが表示されます
指示に従いコピーしてください。
事前に登録見積が必要です。

枝番コピー
確認メッセージが表示されます
指示に従いコピーしてください。
現在開いている見積の枝番で
1～9番まで作成できます。

終了ボタン工事設定フォームを閉じます。
再表示は機能キー
上段左工事設定クリック

見積№作成フォーム
呼出し文字
見積№の連番前を作成
フォーム説明-11

工事名・工事場所
工事名: 見積の工事名を直接入力
見積登録には入力が必要です。
変更した場合は更新ボタンを押してください。
工事場所: 見積の工事場所を入力

得意先～支払条件～材料単価率
公共労務単価・その他DATAの各文字を
クリックしてください。
各リスト作成フォームが開きます。
フォーム説明を確認して追加・変更
してください。
フォーム説明
得意先・自社名 説明-11

現在の見積を削除
します。

カレンダーフォーム
呼出しボタン: Cal
カレンダーの日付をクリックすると
各ボックスに入力されます。
**作成日を未入力で登録した場合
作成当日の日付が入力されます。**

公共労務単価リスト変更

公共その他の率リスト変更

公共労務単の文字クリックでリスト作成できます。
共通仮設・現場管理の積上げは公共見積時
必要に応じ入力してください。
その他は切替ボタンでON・OFFできます。
通常見積(初期)ではOFFです。
その他DATA文字クリックでその他率変更できます。

得意先～材料単価率
直接入力またはリスト選択します。
得意先・見積労務単価・材料単価率
は登録時入力必須です。

工事注記・工事概要
直接入力します。
見積表紙に記載され記入した場合
記載文字先頭に連番が入ります。

種類の登録ボタンです。
種目・科目・細目を入力後クリック
細目名の入力は必須です。

リスト更新ボタン
金額更新時クリック

終了ボタン工事設定フォームを
閉じます。
再表示は機能キー
上段左工事設定クリック

種別リストで選択した
種別を削除します。

見積№リストフォーム
呼出しボタン
開いたリストから種別を選択するか
フォルダ検索して種別を取込みます。

種別並び替えフォーム
呼出しボタン
フォームの説明に従い
種別を並び替えて下さい。

登録済みの種別名変更
リスト選択し、種別文字を変更後
変更ボタンをクリックします。

種別の割込み挿入です。
登録時リスト選択行の下に
割込み登録します。

登録ご種別一覧リストに表示されます。
複数種別がある場合、選択後
種別読込で、明細に選択種別を読み込みます。
**見積明細作成ページの種別№右の文字を
クリックして種別リストフォームを開くと
種別移動が簡単にできます。**

種目名・科目名・細目名 リスト作成
フォーム呼出し文字
各リスト作成数は30です。
フォーム説明を確認して追加・変更
してください。

1.種目名の入力は必須
入力が終わったら
種別登録ボタンをクリックしてください。

**この色の文字は
フォームが開きます。**

○ 工事設定フォーム: 工事種別ページ

フォーム説明-03

- 工事設定フォーム:経費ページ 起動時表示される。
非表示から表示にするには機能キー上段、左から2番目の工事設定ボタンをクリック。

経費を計算

- 直接工事費：見積の総合計です。
- 諸経費～共通仮設費・現場管理費は右%リストより選択するか直接入力して下さい。
- 共通仮設費(積上)・現場管理費(積上)は見積設定ページで入力した場合表示されます。経費ページでの変更は出来ません。
- 端数値引・値引き：値引き金額を入力した金額が差し引かれます。マイナスの入力は不要です。
- 総合計：見積表示金額
この金額が見積最終金額です。(税別)

工事設定

見積設定 工事種別 経費 印刷

工事名 コンセント増設工事

労務原価選択 15,000 ... 終了

1. 見積経費計算 (円)

直接工事費	56269	
諸経費	5627	10 %
法定福利費	5255	16 %
安全対策費		0 %
共通仮設費		0 %
〃 (積上)		
現場管理費		0 %
〃 (積上)		
端数値引		公共工事 その他
値引き	7151	切替
総合計	60,000	OFF

※リスト選択または、直接入力してください。

2. 部材・労務 価と収支 (円)

部材単価率	部材	積算金額	原価金額	積算-原価
1.00	部材	23,429	23,429	0
	労務	32,840	32,840	0
15,000	合計	56,269	56,269	0

直接工事費[円] 実施工事費[円] 収支金額[円]

3. 公共建築工事入札価格計算

見積種別No. 見積金額 [円]

種別1 56,269.-

「工種」ボタンで最低入札価格を表示

建築 電気 機械 昇降機

新規Bookが開きます。
※入札価格計算には工期首日および工期末日の入力が必要です。

収支金額を計算

積算金額と原価金額、その差金額です。
経費は含まれていないので注意してください。

種別ごとの見積金額です。

入札最低価格計算

入札最低価格計算の出力ボタン
建築・電気・機械・昇降機の共通費出力ボタンです。
クリックすると工種毎に別ブックが開きます。
各率は公共建築工事共通費積算基準のH28年12月改定版です。
改定時は機能キー設定ボタンから最低制限率ボタンより数値変更後更新してください。

フォーム説明-03

- 工事設定フォーム:印刷ページ

見積リストから印刷表示

見積リスト
登録した見積のリストが表示されます。
印刷表示したい見積をクリックするとブルーラインに変わります。
選択したら表示したいボタンを押してください。

印刷時の表示設定
税別・税込チェックは選択した文字が見積金額の後ろに表示されます。
税率選択：税表示時の税率を選択
敬称選択：見積先名称の敬称を選択

工事設定

見積設定 工事種別 経費 印刷

作成年度を選択 作成年度を選択 文字で検索 得意先名で検索

作成年度を選択 検索文字を入力して下さい。 得意先名で検索 検索解除 見積画面へ

見積No 作成月日 見積名 得意先 見積金額(円)

MM-202205-001 2022/05/07 コンセント増設工事 株式会社 見積建設 60,000.-

税別・税込 税率選択 敬称選択

印刷表示 総括 総括明細 Excel出力 明細 明細単抜 保存 A4-縦 背景色1 印枠無し 社判入 罫線色1 見積書

総括：表紙のみ表示します。
総括明細：総括+明細です。縦の場合、工事種別の区切りを少なくしてページ数を減らしています。
明細：明細のみ表示します。工事種別の区切りはページです。
明細単抜：明細の単価と金額を非表示にします。

表示中の印刷画面をエクセル形式で保存します。
保存先フォルダは”MM-エクセルDATA”です。

印刷画面から
見積作成画面へシート移動します。
印刷画面のセルA1をクリックしても
見積作成画面へ移動可能です。

印刷表示時の設定(印刷・保存する状態設定)
A4-縦=見積の総括・明細をA4縦で表示・印刷・保存します。
クリックするとA4-横表示に変わり、印刷・保存も横になります。
社判入ボタンをクリックするとロゴ・社判の表示・非表示の選択ができます。
背景色・罫線色は見積総括・明細の表示設定ですので好みに合わせて選択してください。設定後はデフォルトとなります。
印枠無しは印2個と、3個を用意しています。
見積書：印刷設定が総括・縦のみ請求書を表示します。
銀行口座データは自社データの最終欄へ入力します。

フォーム説明-04

○ 部材検索フォーム

大分類→中分類を選択して小分類をクリックすると
明細へ部材データが転送されます。

大分類→中分類→小分類→明細転送

大分類
各部材ページをクリックすると①の中分類に
そのページ名に関連した分類名称が表示されます。
現在8ページ「強電ケーブル・呼び線」選択状態。

外部エクセルデータを取り込みます。

取り込めるデータは、名称～単価、備考です。
同時に、複数行、複数列取込めます。

3個目の**コピー別窓**は部材検索フォームが
大きくて、邪魔な時使用してください。
使用方法是**コピー別窓**の説明をご覧ください。

外部エクセル明細を
取込む小さいボタンです。
部材検索を終了して
使用できます。
フォーム説明-12

Excelコピーでコピーした
行数と列数が表示されます。

終了ボタン
部材検索フォームを閉じます。
再表示は機能キー左下
部材検索ボタンをクリック

検索最少ボタン
部材検索フォームを小さくします。
明細が見づらい時クリックしてくだ
さい。

バックアップボタン
現状の見積元本体のコピーを
保存します。

分類編集フォーム呼出しボタン。
部材の登録・変更・削除ができます。
複合単価の確認が可能です。

フォーム説明-13・14

入力文字から部材を検索し小分類リストへ
部材を表示します。

検索文字入力後エンターキーを押してください。

金額と備考欄の表示を切り替えます。
現在の表示項目が赤字表示されます。
その赤字をクリックすると表示項目が変わります。

金額→備考→金額……

データを文字検索

文字「文字入力検索」をクリックすると文字が
「文字自動検索」へ変わり、セル移動後の
明細のアクティブセル文字から部材を検索します。
選択済みのセル文字から検索する場合は
「filter全解除」ボタンをクリックしてください。

データをフィルタで絞り込み

②の小分類リストをフィルタ(絞り込み)します。
選択したリストが多い場合、検索時間を短縮できます。

フィルタ1・2各々フィルタ可能で、各々解除可能です。
「filter全解除」ボタンはフィルタしているフィルタ1・2を
同時に解除できます。

データ範囲を制御して明細へ貼付け

②の小分類リストクリック後の明細入力を制御します。

貼付け解除ボタン

クリックすると②のリストのバックカラーが白になります。
②リストクリック後、明細へ部材データがすべて挿入され
ます。
※明細名称・適用・以降すべて。

単価＋歩掛

クリックすると②のリストのバックカラーがオレンジになり
ます。
②リストクリック後、明細へ挿入される部材データの明
細・摘要は未入力となります。
※名称・摘要を先行で入力し書替したくない場合に使用
してください。

歩掛ボタン

クリックすると②のリストのバックカラーが紫になります。
②リストクリック後、明細へ挿入される部材データの明細
～備考まで未入力となります。
※名称～備考を先行で入力し書替したくない場合に使用
してください。

フォーム説明-05

○ 改修費フォーム

明細の歩掛を修正します。
選択部材の工種に該当するボタンをクリック
します。

選択中の部材が歩掛補正されている場合
表示されます。

終了ボタン
歩掛修正フォームを閉じます。

解除ボタン
修正した歩掛を
新営工事の歩掛へ
戻します。

歩掛修正

新設・撤去再利用・撤去歩掛変更

1. 変更したい明細行を選択します。
2. 下、選択ボタン（改修工事工程）を選択します。

選択ボタン

名 称	再利用しない	再利用する (取外し)	取外し取付
電線・ケーブル 電線管	0.2	0.4	1.4
照明器具 配線器具	0.3	0.4	1.4
分電盤・端子盤 架線	0.2	0.4	1.4
変 電 機 器	0.3	0.5	1.5
通 信 用 器 具	0.3	0.4	1.4
電 柱 地中線ケーブル コンクリートトッ	0.3	0.6	1.6

※取外し=再利用する取外し(清掃含む)

(注) 1. 材料の整理、運搬に要する普通作業員は、別途計上する。
2. 電線管でコンクリート埋込のものは除く。
3. 「再利用する、しない」機材の「その他」の率の対象は、労務歩掛とする。

選択行の状態表示
未設定

終了

歩掛変更解除 ※新営工事の労務歩掛に戻します。

クリックすると計算・入力に表示が変わります。

ボタンが「入力」時
「送信でセルへ直接入力」
数字・関数・他ボタンをクリックすると②へクリックしたボタン値が表示されます。
送信ボタンで、セルへ数値・計算式を直接入力したい場合便利です。

「税金額の逆算」
税込み金額から税・税抜き金額の逆算が出来ます。
計算ボタン→「入力」にする
税抜ボタン→「税込」にする
数字ボタンで税込み金額を入力し、入力が終わったら「税込」ボタンをクリックすると
ボタンが「税」に変わり計算結果に税金額が表示されます。
税→税抜→税込の順番で金額が表示されます。
税額からの逆算も同様です。

○ 電卓フォーム

クリックすると計算・入力に表示が
変わります。

ボタンが「計算」時
「計算」
数字・関数・他ボタンをクリックすると①式へ計算式が表示されます。
＝(イコール)ボタンをクリックすると②へ計算結果が表示され
右下の送信ボタンをクリックすると明細アクティブセルへ計算結果
が送信されます。

「明細から数値を取込み計算」
数値が入力されたセルを選択し電卓ボタンの「÷、×、－、＋」の
何れかを選択します。
式にセルと数値とクリックした電卓ボタンが入力されますので
続いて電卓ボタンをクリックして計算してください。

税抜ボタン
クリックすると、税抜→税込→税に表示が変わり
②の計算結果に数値がある場合その数値の税抜・税込・税に
数値が変わります。
BSボタン
入力した数値を一つ前に戻します。
計算ボタンが「計算」の場合式の文字、「入力」の場合計算結果
Cボタン
式と計算結果をクリアします。
ACボタン
電卓フォームをオールクリアします。

電卓

式 1 0 税抜 税率=10%

計算 sin cos tan √ π 終了

税抜 MRC M- M+ ÷ ()

BS 7 8 9 × In log

C 4 5 6 -

AC 1 2 3 +

0 00 . =

送信

税率の変更
税率の変更は計算結果へ新規税率を表示させ
税率の文字をダブルクリックして下さい。
移行メッセージに従います。

終了ボタン
電卓フォームを閉じます。

青四角は印刷、見積表紙のロゴと社判を
電卓の矢印で位置調整出来ます。
※工事設定の印刷で表示し電卓を開く
幅調整はM-・M+、高さ調整は-・+で
調整できます。
※表示されているロゴ・社判のみ調整・保存し
ます。

クリックすると②の計算結果が
明細の選択セルへ送信されます。

フォーム説明-06

○ 分電盤フォーム

開閉器等の数量で歩掛を算出します。

開閉器箱・分電盤の
収容機器数を入力します。

リストまたは直接入力

公共建築工事標準単価積算基準 補正表(開閉器箱・分電盤)

修正表(開閉器箱・分電盤)			
算出人員	適用人員	算出人員	適用人員
3 人以上 ～ 4 人 未満	3	16人以上 ～19人未満	12
4 人以上 ～ 5 人 未満	4	19人以上 ～22人 未満	15
5 人以上 ～ 6 人 未満	5	22人以上 ～26人 未満	18
6 人以上 ～ 7 人 未満	6	26人以上 ～30人 未満	21
7 人以上 ～ 8.5人未満	7	30人以上 ～35人 未満	24
8.5人以上 ～ 10 人未満	8	35人以上 ～41人 未満	28
10 人以上 ～ 13 人未満	10	41人以上 ～48人 未満	33
13 人以上 ～ 16 人未満	11		

算出結果は上記表の適用人員に
補正しています。

○ 制御盤フォーム

制御盤の
収容機器数を入力します。

リストまたは直接入力

公共建築工事標準単価積算基準 補正表(制御盤)

修正表(制御盤)					
算出人員	適用人員	算出人員	適用人員	算出人員	適用人員
2.5人以上 ～ 3.5人未満	3	10.0人以上 ～11.5人未満	9	24.0人以上～40.0人未満	0.6倍
3.5人以上 ～ 4.5人未満	4	11.5人 以上 ～13.0人未満	10	40.0人以上 ～44.0人未満	24
4.5人以上 ～ 5.5人未満	5	13.0人以上 ～15.0人未満	11	44.0人以上 ～69.0人未満	0.55倍
5.5人以上 ～ 7.0人未満	6	15.0人以上 ～17.0人未満	12	69.0人以上 ～76.0人未満	38
7.0人以上 ～ 8.5人未満	7	17.0人以上 ～19.0人未満	13	76.0人以上	0.5倍
8.5人以上 ～10.0人未満	8	19.0人以上 ～24.0人未満	14		

算出結果は上記表の適用人員に
補正しています。

分電盤・開閉器箱

各開閉器の数量を選択または入力して下さい。
すべて数量入力後決定ボタンを押して下さい。

決定 クリア 終了

現在歩掛

極数・電流 MCCB KS(ナイフSW) 協約形 MCCB

1P 30A ... 1 極サイズ2P 30A ... 2.5A = 200A含

1P 60A ... 小型サイズ2P 30A ... 400A = 300A含

極数・電流 MCCB KS 極数・電流 MCCB KS 極数・電流

2P 30A ... 3P 30A ... 4P 30A ...

2P 60A ... 3P 60A ... 4P 60A ...

2P 100A ... 3P 100A ... 4P 100A ...

2P 225A ... 3P 225A ... 4P 225A ...

2P 400A ... 3P 400A ... 4P 400A ...

リモコン機器 2線式 (多重伝送制御機器) タイムスイッチ用

リモコンリレー 20A ... T/U 1個用 ... コントロールユニット ...

リモコントランス ... T/U 4個用 ... 自動点滅器対応 ...

伝送ユニット ... 電磁接触器 ... 低圧用SPD (避雷器) ...

リレー-T/U付 6A×1 ... タイムスイッチ ...

リレー-T/U付 6A×4 ... 電力量計 ...

終了ボタン
分電盤フォームを閉じます。

クリアボタン
入力した数値をすべて
クリアします。

現在歩掛
明細に転送する現在算出の
歩掛です。

決定ボタン
歩掛を明細選択行(アクティブ行)に
転送します。

制御盤

各容量負荷の数量を選択または入力
すべて数量入力後決定ボタンを押して下さい。

決定 クリア 終了

現在歩掛

主幹(極数・定格電流) ※主幹用MCCB ELB または操作電源遮断器選択

3P 30A ... 4P 30A ... 225A = 200A含

3P 60A ... 4P 60A ... 400A = 300A含

3P 100A ... 4P 100A ...

3P 225A ... 4P 225A ...

3P 400A ... 4P 400A ...

分岐(負荷定格容量) 作業種別 各ボックスへ数値入力

MCCB(定格負荷) 同一開路の自動交互数

以下 実装数 以下 実装数 以下 予備回路数

2.2Kw ... 2.2Kw ... 2.2Kw ...

3.7Kw ... 3.7Kw ... 3.7Kw ...

5.5Kw ... 5.5Kw ... 5.5Kw ...

7.5Kw ... 7.5Kw ... 7.5Kw ...

11.0Kw ... 11.0Kw ... 11.0Kw ...

15.0Kw ... 15.0Kw ... 15.0Kw ...

22.0Kw ... 22.0Kw ... 22.0Kw ...

30.0Kw ... 30.0Kw ... 30.0Kw ...

37.0Kw ... 37.0Kw ... 37.0Kw ...

45.0Kw ... 45.0Kw ... 45.0Kw ...

55.0Kw ... 55.0Kw ... 55.0Kw ...

終了ボタン
制御盤フォームを閉じます。

クリアボタン
入力した数値をすべて

現在歩掛
明細に転送する現在算出の歩掛です。

決定ボタン
歩掛を明細選択行(アクティブ行)に
転送します。

フォーム説明-07

○ 土工費算出フォーム

開閉器等の数量で歩掛を算出します。

土工費計算基本情報
入力2の計算をするための基本情報です。

労務単価率
労務単価は工事設定フォームの
見積設定ページ、公共労務単価で
設定した労務単価に対する率です。

損料・価格設定フォーム呼出ボタン
クリックすると右のフォームが開きます。
機械損・単価修正フォームです。
各項目を変更したら戻るボタンを
クリックして下さい。

データの
転送方法

数量・金額転送ボタン
各ボタンをクリックすると
**明細選択行(アクティブ行)に数値が
転送されます。**
ボックス1列目明細数量セルへ
ボックス2列目以降、単価欄へ転送し
ます。

終了ボタン
土工費算出フォー
ムを終了します。

全クリアボタン
当フォームのボックス
に入力した値を全部を
クリアします。

注意事項
土工費計算を使用する場
合の注意事項です。
確認してください。

計算は小規模土工に対
する数値です。
公共工事に作成した簡
易版のため概算算出です。
**施工環境により工事費が
大きく左右されますので
現場確認と専門業者見積
をお勧めします。**

建築発生土運搬費
●一般道だけを走行する場合と
最寄りの自動車専用道路を利用する
名合の2通りの金額を算出し
、安価な方を採用する。

「一般道だけを走行する場合」
建築発生土運搬費＝建築発生土運
搬単価(円／m3)×数量(m3)
DID区間は「有」を採用する。
運搬距離は工事現場から処分地まで
の実走行距離(累計)とする。
※2点間の直線距離ではなく電子地
図ソフトを用いて計測する。

「自動車専用道路を利用する場合」
建築発生土運搬費＝建築発生土運
搬単価(円／m3)×数量(m3)＋通行
料金(単価)×延べ台数×2
DID区間は全区間通じて(一般道含
めて)「無」を採用する。

※自動車専用道路の距離・通行料金
等の扱いは各地区担当に確認するこ
と。

埋設配管土工費計算
ルート1の距離数を選択または入力
します。
次に、埋設する配管の太さリストの
本数を選択して下さい。
埋設深さ×配管幅＝段数＋1とな
ります。
段数ボックスをクリックして説明を
参照してください。
clearボタンは行をクリアします。
**施工環境により工事費が大きく左
右されますので
現場確認と専門業者見積をお勧め
します。**

ハンドホール設置土工費計算
設置土工費とクレーン・残土処理を算出します。
残土運搬・残土処理は入力1の基本データより算出します。
現場打ちの場合
型枠面積へ数値を入力して下さい。
コンクリート打設は有筋となります。
**施工環境により工事費が大きく左右されますので
現場確認と専門業者見積をお勧めします。**

外灯基礎計算
基礎の大きさに該当する数量を選択。
次に、基礎の深さを選択して下さい。
土工費と型枠・無筋コンクリート打設金額を算出します。
**施工環境により工事費が大きく左右されますので
現場確認と専門業者見積をお勧めします。**

土工費算出

1. 埋設管路土工費計算

入力1 このボックスより基本データを選択して下さい。

運搬距離	DID区間	残土処分費	配管深さ	バケット/人力	数均し(人力)
10.0 km	無し	3,030 円	0.6 m	0.13	無し m3

DATA更新

労務単価率 1

++掘削ルート1の配管深さと幅++

ルート1 深さ・幅

配管深さ h1

コンクリート・アスファルト掘削がある場合
掘削工種選択

機械

コンクリート掘削 型枠総面積

コンクリート掘削 m3

コンクリート補修 m3

アスファルト掘削 m3

アスファルト復旧 m2

入力2 埋設距離、配管本数を選択

距離	FEP30(36)	40(42)	50(54)	65(70)	80(82)	100(104)	125	150	段数
ルート1	本数								→説明
ルート2	本数								Clear1
ルート3	本数								Clear2

入力3 H・H数量選択 (既製品設置費)

数量	有効 WxDxH	外寸 wxdxh	参考重量
H1-6	600×600×600	730×730×860	520kg
H1-9	600×600×900	730×730×1160	640kg
H2-6	900×900×600	1060×1060×880	940kg
H2-9	900×900×900	1060×1060×1180	1150kg
1200	1200×1200×900	1360×1360×1180	1900kg
1500	1200×1200×1200	1360×1360×1510	2220kg

Clear

入力4 外灯基礎

数量	基礎深さ
	W300×D300× H
	W400×D400× H
	W500×D500× H
	W600×D600× H

Clear

2. 掘削・埋戻し土量 ※参考数量 ※明細行選択後転送したいデータのボックスをクリックしてください。

掘削数量	埋戻し数量	発生土量(か)	砂利地業	数均し土量
m3	m3	m3	m3	m3

終了 全クリア

3. 掘削・研り等、工種別複合単価 (円) ※参考価格

コンクリ有筋研り	コンクリ無筋研り	コンクリブロック研り	レンガ研り	コンクリ有筋補修	コンクリ無筋補修
円	円	円	円	円	円
アスファルト掘削	アスファルト復旧	注意) 参考価格です 一般地区・歩道部 路盤材10cm			
円	円				

※1

4. 土工事等、工種別複合単価 (円) ※参考価格

人力・バックホー	HH クレーン料	HH 設置費	発生土処理費	土工費合計
円	円	円	円	円
残土運搬日数	発生土運搬費	発生土処分費	発生土積込費	運搬費等合計
日	円	円	円	円

※2 ※3 ※4

※1 外灯基礎の型枠+モルタル打設は、コンクリ無筋補修に加算されます。
※2 重機回送費は現場ごと別途計上すること。
※3 ハンドホール・鉄蓋・雑材料は別途計上すること。
※4 通搬費×0.33=木材類 通搬費×0.44=せつこうボード類とすること。
※労務費(円)は複合単価で、その他を含みます。
※200A以下の配管体積分の残土は計上しない。
残土処理(数均し)費を計上するには、数均し(人力)ボックスを有りとする。
ただし、埋戻し数量は、掘削数量から数均し土量を減じる。
基礎深さは選択または直接入力
注) ベースプレート式基礎の場合アンカーフレームを別途計上すること。

フォーム説明-08

○ 計算フォーム1・2

プルボックス・ダクトの複合単価計算

プルボックス・ダクトの歩掛計算

プルボックス・ダクト等の計算
縦・横・高さ(ダクト高さは1,000とする)を
入力して市場単価(複合単価)を計算します。
図①は
縦300×横300×高さ200=総面積0.42m²
②の総面積範囲内なので単価/m²単価は
37,900円
市場単価は③37,900円×④0.42+⑤800(接地端
子)=市場単価⑥16,718円になります。

表面積から新設歩掛・撤去歩掛を計算
ボックス新設の労務単価を計算すると
新設歩掛0.4×労務単価23,500円×その他
(1.25)=11,750円となります。
※その他の率は地域で異なります。

プルボックス・ダクト等の計算
縦・横・高さ(ダクト高さは1,000とする)を
入力して市場単価(複合単価)を計算します。
また
表面積から新設歩掛・撤去歩掛を計算

工種:新設・撤再・撤去ボタンで
アクティブ行へ新規・撤再(撤去再取付)・撤去
データを送信できます。
送信した工種データを「撤改費」フォームで
別工種へ変更できます。↑05ページ

ケーブルラック・配管選定、電圧降下計算

ケーブル種別リスト
計算・選択したい電線・ケー
ブルを選択します。

ケーブルサイズリスト
計算・選択したい電線・ケー
ブルのサイズを選択します。

ケーブル心数リスト
計算・選択したい電線・ケー
ブルの心線を選択します。

ケーブル乗数リスト
計算・選択したい電線・ケー
ブルの条数を選択します。

計算フォーム1

プルボックス・ダクト総表面積計算 市場単価、歩掛計算

1.縦・横・高さを入力 ※ダクト・トラフ高さは1,000とする

縦(mm) 横(mm) 高さ(mm) 総面積(m²)

300 × 300 × 200 = 0.42

2.下の選択リストより該当するプルボックス・ダクト部材を選

プルボックス・ダクト選択リスト

- ☐ [露出形SS]及び[隠ぺい型SS-C]銅板製さび止め塗装仕上げ
- ☐ [露出形SS]銅板製溶融亜鉛めっき350g/m²仕上げ防水形
- ☒ [露出形SS]銅板製さび止め塗装仕上げ防水形
- ☐ [露出形SS]ステンレス製防水形
- ☐ [露出形SS-V]硬質ビニル製 防水形 被せ蓋
- ☐ 金属ダクト・金属トラフ 銅板製さび止め塗装
- ☐ 金属ダクト・金属トラフ ステンレス製

3.計算結果を明細入力する方法

入力したい明細行を選択しアクティブにたら
右ボタンから該当する工種を選択してクリックします。
単価および歩掛以降が入力されます。
注)明細入力時歩掛り積算方式で入力します。

新規 撤再 撤去

5 800 クリア 終了

接地端子付 新設歩掛 0.400 撤去歩掛 0.080 その他 0.25 労務単価 23,500

市場単価 16,718

接地端子なし 新市場単価

計算

新市場単価から1m²単価の更新方法

- 1.新市場単価ボックスの寸法と仕様を選択
- 2.当ボックス接地端子なし価格を右ボックスへ入力
- 3.計算クリック→単価確認→決定クリックで保存完了

※再度決定クリックで新旧単価が入替り元に戻せます。

ボックス総面積	単価(円/m ²)	m ² 新単価	単価入替
0.2m ² 未満	48,800		決定
0.2m ² 以上 0.3m ² 未満	43,200		
0.3m ² 以上 0.5m ² 未満	37,900		新単価 消去
0.5m ² 以上 1.0m ² 未満	31,300		
1.0m ² 以上 2.0m ² 未満	25,900		
2.0m ² 以上 3.0m ² 未満	23,900		
3.0m ² 以上	23,300		

クリアボタン
1.のボックス内をクリアし初期状態に戻します。

終了ボタン
計算フォーム1を閉じます。

その他ボックス
公共工事入札計算で使用します。
その他の数値変更は工事設定フォームから
変更します。

労務単価ボックス
工事設定フォームの公共労務単価で設定
ボックスの単価は電気労務単価が表示
されます。

最新の市場単価より
プルボックス単価(円/m²)を逆算します。
更新方法を読んで単価設定してください。
計算無しでm²新単価へ入力し、決定ボタンで
変更も可能です。

データ転送

電圧降下・配線延長の算出が出来ます。※各計算は基本式計算です。

計算はケーブル種別へ項目を入力したら、そのケーブルNoを選択します。
電流・こう長を変更すると降下率・降下が計算されます。
電流値と電圧降下[%]を設定して計算をクリックすると、こう長の計算が出来
ます。 ※詳しくは参考※2をクリックして下さい。

終了ボタン
計算フォーム2を閉じます。

クリアボタン
ボックス内をクリアし初期状態

選択したケーブル種別～E・N数より
選択した電線・ケーブルの許容電流
を計算します。敷設方法により配管選択
占有率が確認できます。

E・N数は許容電流計算に本数として加算しない
ので許容電流が変化します。

布設方法列の最終行の布設方法ですべての
電線・ケーブルを同一管に収めた場合の
配管が最終行に表示されます。

参考※3をクリックして確認してください。

基底温度による許容電流の算出が可能
です。

計算フォーム2

ケーブルラック幅等の計算

1.強電・弱電を選択→ ☒ 強電 ☐ 弱電

2.下のボックスのケーブル種別～乗数までを選択

3.予備スペースを設ける場合は右の予備幅を選択→

必要ラック幅 電線重量 Σ(D+10)×1 電線幅合計

mm kg/m mm mm

電圧降下 配電方式選択 周波数[Hz] 力率[%]

単相2線式 100[V] 線間 50 100

ケーブルNo. 電流[A] こう長[m] 降下[%] 降下[V]

1 10 30

電流値から電圧降下 1% の配線こう長を計算 → 計算 ※2

ケーブル種別	サイズ	心数	条数	布設方法	E・N数	許容電流	収容配管等	占積率・内規	基底温度
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

参考※1 参考※2 参考※3

↑最下行の布設方法で全ケーブルを収容した場合の配管↑と占有率↑※3
※ 電圧降下値は基本式で算出している (簡略式に比べ20%程度大きい値)

フォーム説明-09

○ 計算フォーム3

内線規程の配線設計を計算フォームにまとめました。
※詳しくは内線規程を参照ください。

1.～3.
で算出された設備負荷から分岐回路数と主幹容量および主幹の幹線太さです。
幹線太さはCV・VVケーブル共に2心ケーブルの
気中・暗渠布設で計算しています。
※詳しくは②参考※2ボタンをクリックしてください。
配線延長による電圧降下も考慮してください。

計算の基底温度は30℃です。
基底温度を変更する場合は②基底温度リスト
より変更してください。

1.～3.
で住宅(1戸)容量を計算して、その容量を
集合住宅1戸とした場合の幹線計算です。
4.集合住宅の種類選択 5.戸数を選択
6.温水器等負荷容量を選択してください。
6.の負荷種類と容量は参考※3ボタンより
確認してください。
一般需要率・単3電流・CVTケーブルについても
記載しています。

三相誘導電動機1台の分岐回路計算です。
回路の電圧を選択。
直入れ始動・Y-△始動・加熱装置の計算したい
容量を選択または入力します。
全負荷電流～接地線まで計算表示されます。
加熱装置の接地線太さは開閉器電流値×
0.052の値直近上位断面積電線としている。

※参考ボタン 以下参照ください。
参考※4
エレベータ・エアコン等負荷の選定
分岐回路の施設・電動機1台の分岐回路

参考※5
本フォームの算定資料
加熱装置回路の幹線及び分岐回路選定
電動機と電灯、加熱装置等の併用する幹線

参考※6
幹線の過電流保護装置の設置
低圧幹線から分岐する配線の保護の規定

工場、公会堂、寺院
教会、劇場、寄席
寄席、ダンスホール
農家の納屋など
寮、下宿屋、旅館
ホテル、クラブ、病院
学校、料理店、喫茶店
飲食店、公衆浴場
事務所、銀行、商店
理髪店、美容院
住宅、アパート

計算フォーム3

○ 配線設計【負荷の想定】1.～3.建物部分の計算 内規3605参照

1.標準負荷 建物の種類 その建物の床面積 2.建物の部分 その建物の床面積 3.その他加算 設備負荷

工場、公会堂、寺院 ... 0 ... m2+ 廊下、階段、手洗所 ... 0 ... m2+ 0 ... KVA= KVA

1.～3.計算 回路数 主幹容量 CVケーブル VVケーブル ※1

設備負荷の 回路 AT 幹線太さ(単3) ←数値は基底温度30℃変更は↓ 2

○ 4.～6.集合住宅の計算 内規 資料3-6-1・3-6-2参照

4.集合住宅の種類選択(1戸容量は上算出設備負荷) 5.戸数 6.温水器等負荷

集合住宅(全電化を除く)の負荷 ... 0 ... 0 ... KVA

CVTケーブル 遮断器容量 一般需要率

○ 配線設計 三相誘導電動機1台の分岐回路(配線用遮断器) 内規3705参照

電圧 ※4 定格出力(電動機中最大) 全負荷電流 CVケーブル VVケーブル VCTケーブル 遮断器容量 計器目盛 接地線

200V ... 直入れ始動 ... KW ...

加熱装置 Y-△始動 ... KW ...

配線種別→ 三相3線 ... KW ...

○ 配線設計 三相誘導電動機の幹線太さの計算(配線用遮断器) 内規3705参照

☑ トップランナーモータで算出 4

1. 負荷の総和を選択 → ... KW 直入れ始動 ...

2. 電動機中最大負荷を上ボックスで選択。 Y-△始動 ...

最大使用電流 CVケーブル VVケーブル 遮断器容量 基底温度

30℃ ...

※5 ※6

←数値は基底温度30℃変更は↓

参考※4

参考※5

参考※6

終了

クリア

参考※1

参考※2

参考※3

参考※4

参考※5

参考※6

1.
建物の種類①のリストから
建物を選択しその建物の
床面積を選択または
入力します。

2.
その建物の部分を選択して
建物部分の床面積を選択
または入力します。
※住宅、アパートは除外

3.
その他加算リストに
加算すべきVA数を選択
または入力します。
※詳しくは②参考※1ボタン
より確認してください。

1.～3.
各建物の種類と床面積
+部分の床面積で必要な
想定負荷+その他加算の
負荷の合計です。

終了ボタン
計算フォーム2を閉じます。

クリアボタン
ボックス内をクリアし初期状態

※参考ボタン 以下参照ください。
参考※1
加算すべきVA数
住宅・アパート・商店のショーウィンドー
看板・ネオンサイン・劇場・映画館
標準負荷以上の設備

参考※2
幹線太さ、開閉器及び過電流遮断器の容量
配線延長による電圧降下の考慮
多条敷設・管路敷設の許容電流
B種ヒューズの選定方法

参考※3
幹線の過電流保護装置
低圧幹線にはその電線を保護するMCCBを
設置する
低圧幹線から分岐する配線の保護の規定

三相誘導電動機の幹線太さ計算

※表の1台の分岐回路の電動機を、負荷の総和中の最大のものとする。

- 1.負荷の総和をリストより選択
- 2.電動機中最大負荷の電動機データを③の三相誘導電動機1台の分岐回路へ入力

④直入れ始動とY-△始動の右に幹線の各データが表示されます。(上段は電動機最大が「直入れ」の場合
下段は電動機中最大が「Y-△始動」の場合です。)

☑トップランナーモータで算出のチェックを外すと、トップランナーモータ以外の電動機(内規資料番号3-7-7)の
データとなります。

トップランナーモータとトップランナーモータ以外の電動機が混在する場合

- ①直入れ始動の場合 分岐回路にある既設の電動機中、最大のものの0.75倍以下の容量のモータ交換
 - ②スターデルタ始動の場合 分岐回路にある既設の電動機中、最大のものの0.6倍以下の容量のモータの交換
- ①②の場合で☑トップランナーモータで計算した過電流遮断器値と、チェック無しの計算結果を比べ、
低い値を参照出来る。(内規 資料 3-7-6参照)

始動条件は前負荷電流の600%電流で10秒以内、始動突入電流は全負荷電流の1700%で選定

電動機中最大のものの前負荷電流は規約電流値(内線規程 資料)を適用

電動機中最大のものは同時始動がある場合の容量にも適用できます。

フォーム説明-10

○ 設定フォーム

見積元の基本設定フォームです。

端数処理設定フォームを
呼出すボタンです。
このページの下のフォームです。

フォーム説明-10

シート見出し
表示にするをクリックすると
エクセルbook下のタグを表示します。
ボタン表示は非表示にするへ変わります。

シート行番号
表示にするをクリックすると
行「1.2.3.・・・」と列「A.B.C.・・・」が
表示されます。
ボタン表示は非表示にするへ変わります。

検索文字更新ボタン
登録変更した部材を検索機能で検索できるように
文字登録します。

明細ページ修復ボタン
クリックすると明細ページを初期に戻します。
セルドラッグ・コピー等で明細の計算・
表示異常がある場合クリックしてください。
作成中の見積は保存されます。

データ移行ボタン
MMみつもりDATAフォルダ内の
見積データ数が増えた場合
クリックして再読み込んでください。
ただし、見積元を開いていない場
合は不要です。

終了ボタン
設定フォームを閉じます。

明細の単価欄を選択した時
原価計算フォームの表示・非表示を
選択します。

フォーム説明-15

最低制限率フォーム呼出しボタン
最低制限計算の各率の確認と
変更が可能です。

フォーム説明-10

年・年度切替ボタン
年にするをクリックすると
年・年度検索は年検索になり
見積連番の初期(-001)が
1月1日スタートとなります。
※年度=4月1日

スクロール(ON/OFF)設定
スクロール位置の設定が可能
社判入ボタン
選択で社判とロゴの表示・非表
示が選択可能

終了ボタン
変更を保存して閉じます。

エクスポートボタンで表示されます。
部材DATAの後に文字を入れるか、削除して
保存名を入力してください。
OKをクリックすると見積元と同じフォルダの
MM部材DATAフォルダへ保存されます。
初期保存でフォルダは作成されます。
インポート時このデータを選択します。
エクスポート先覚えておいてください。

入力

ここに保存名を入力してください。
見積本体のあるフォルダ内のMM部材DATAフォルダへ保存します。
保存したDATAは変更しないでください。

部材DATA

OK キャンセル

インポートボタンをクリックすると
データを読み込むためのウィンドウが開きます。
覚えておいたエクスポートデータを指定し「開く」をクリックしてください。
開いていた下のフォームチェックボックス名が表示されます。
インポートしたいボックスにチェックを入れてインポートをクリックして下さい。

DATAインポート

全チェック インポート 終了

MM部材DATAからインポートファイルを選択して
取り込む大分類をチェックして下さい。
※右のボックスで挿入先を指定出来ます。

<input type="checkbox"/> 受変電・架空・地中	1
<input type="checkbox"/> エアコン・電動機・盤	2
<input type="checkbox"/> 照明器具・配線器具	3
<input type="checkbox"/> 弱電・火報	4
<input type="checkbox"/> 避雷・接地・塗装・搬入・	5
<input type="checkbox"/> 配管・ラック・線び・ダクト	6
<input type="checkbox"/> ボックス・防火区画	7
<input type="checkbox"/> 強電ケーブル・呼び線	8
<input type="checkbox"/> 弱電・光ケーブル	9
<input type="checkbox"/> 入札データ・その他	10

取り込むデータをチェックして下さい。

☐ 自社・基本データ

☐ 得意先・総括データ

最後にインポートボタンを押して下さい。

終了ボタン
変更せずに
終了します。

部材インポ
ート先を変
更できま
す。
入替は1項
目のみと
してくだ
さい。
複数入れ
替える場
合はイン
ポートを
繰り返さ
ない。

○ 端数処理設定フォーム・DATAインポートフォーム

経費等の端数丸め設定で
リストで端数処理をする
桁数を選択してください。

端数処理
切捨て・切上げ・四捨五入を
選択できます。

端数処理設定

1. 経費等丸め設定

諸経費	丸め桁	0
法定福利費	丸め桁	0
安全対策費	丸め桁	1
共通仮設費	丸め桁	1
現場管理費	丸め桁	1

2. 単価端数丸め設定

百円未満	丸め桁	-1
五百円未満	丸め桁	0
千円未満	丸め桁	1
一万円未満	丸め桁	1
一万円以上	丸め桁	2

1. 端数処理

☐ 切り捨て ☒ 四捨五入 ☐ 切り上げ

2. 端数処理

☐ 切り捨て ☒ 四捨五入 ☐ 切り上げ

※、丸める桁数が丸め桁数と同じか大きい場合は、丸め桁数は丸める桁数 - 1 とします。
※ 明細労務・付属品・雑材料・所要量・その他合計の丸めは小数点以下切捨てです。

終了

インポートしたいボックスに
☑をします。

明細入力時の単価端数設定
各金額で丸めを設定
-1は小数点以下一位です。
端数処理
切捨て・切上げ・四捨五入を
選択できます。

フォーム説明-11

○ 見積No.作成フォーム

見積元の基本設定フォームです。

年度表示設定

年度にするにチェックを入れると、4月1日で西暦表示が1年プラスになります。

連番リセット条件設定

固定1にチェックを入れると固定1、ここでは「MM-」「MD-」「001-」3種類の見積No.を区別して連番を振ります。連番-001が各見積No.に存在することになります。

固定2

固定1と同様です。

※固定1と固定2のチェックは同時選択無しは可能ですが同時選択は出来ません。

☒ 年・年度 ☐ 月

このチェックボックスは連番のリセット選択ボックスです。前者は年・年度が変わるとき連番リセットします。後者は月が変わるとき連番リセットします。チェックは必ずどちらか一方にチェックが入ります。

新規見積No.選択
右の現在のコード+連番が
新規見積No.となります。
連番は連番リセット条件によります。

終了ボタン
変更を保存して閉じます。

コードNo.	固定1	見積No.	固定2	年桁数	発行年	発行月	発行日
1.	MM-	202205	E	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.	MD-	02205	E	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.	001-	220529		2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

右の発行年・発行月・発行日を選択すると表示されます。これが見積No.の固定1と固定2の間に表示されます。年桁数は発行年(西暦)の表示桁数を選択できます。

チェックを入れると見積No.に反映されます。

自社DATA作成フォームです。
ボタンを選択してデータを登録してください。
入力後戻るボタンで登録完了です。

自社入力のドロップダウンリストの表示名です。

DATANo6は銀行振り込み先入力フォームに変わります。印刷の縦、表紙の時請求書へ、変更可能です。その請求書へ銀行振り込みデータが入力されます。※簡易請求書です。これから更新予定です。

新規登録ボタン

新しい顧客情報を入力してください。入力後続けて登録する場合は登録&継続ボタンを登録して終了する場合は登録&完了ボタンをクリックしてください。

移動確定ボタンは

右の顧客移動ボタンで移動後ボタンをクリックしてください。

編集は顧客リストから編集したい顧客をせんたくして編集後登録&継続または登録&完了をクリックして下さい。

郵便番号～MEMOまでは
見積表紙には表示されません。

終了ボタン
フォームを閉じます。

顧客リストです。
顧客データ編集、並び替えをする場合選択して編集、または顧客移動ボタンで並び替えて下さい。

編集は登録ボタンを、並び替えは移動確定ボタンをクリックしてください。

- 新規登録は「新規登録」ボタンをクリック→各項目を入力→引き続き登録→「登録&継続」登録して終了→「登録&完了」を選択
 - 顧客名並び換えは「顧客移動」ボタン上▲下▼で顧客名移動→「移動確定」ボタンをクリックして移動完了
- 終了ボタンは変更せず終了します。

フォーム説明-12

○ データ貼付フォーム

外部エクセルデータを取り込みます。(部材検索フォームまたはデータ貼付フォーム)

部材検索フォームのこのボタン、あるいは右のデータ貼付フォームの①ボタンでコピー貼付けをします。

データ貼付フォームは「コピペ別窓」で開きます。

このボタンで②のフォームが開きます。

フォーム説明-04の部材検索フォームです。

コピーをしたときここに行数と列数が表示されます。コピー確認用です。

Excelコピー

Excel貼付

コピペ別窓

行数

列数

終了

検索 最小

バックアップ

分類編集

単価+歩掛

歩掛

解除

Filter 全解除

フィルタ 1 解除

フィルタ 2 解除

検索文字入力

入力検索

12

外部エクセルデータを取り込み

データ貼付

コピーしたいセル又は、セル範囲を指定してクリック

貼付け先を名称最下行に移動→ する

貼付け先に新規明細行を追加→ する

※明細最終行の不足分は追加されます。

コピー

貼付

改行削除 ☒

空白削除 ☒

終了

行数

列数

注意) 右クリック貼付けは、出来ません。

コピーをしたときここに行数と列数が表示されます。コピー確認用です。

コピー元データに改行・空白がある場合、削除するかしないかの選択です。デフォルトはともに削除です。削除したくない場合チェックを外してください。

②の説明

貼付け先を名称最下行に移動 → コピーをクリックした時、明細作成ページの名称最下行がアクティブセルとなり、コピー元左上をアクティブセルから貼付します。移動しない場合は「する」ボタンをクリックして下さい。

貼付け先に新規明細行を追加 → 「貼付」をクリックすると、アクティブセルから下へ貼付けます。このときコピー元の行数を新規で挿入し、その挿入した部分へコピー元データを貼り付けます。ボタンで「しない」にするとアクティブセルから上書きします。※明細最終行の不足分は追加されます。

データ貼付方法

- 機能キーフォームを開く
- 部材検索ボタンクリック
- コピペ別窓ボタンクリック
- コピペ用.xlsxを開く下参照
- ①外部エクセルを選択
- ②コピーボタンをクリック
- ③貼付ボタンをクリック
- 完了

03見積元マニュアルフォルダ内の「コピペ用.xlsx」を開いてください。

①↓ここから～↑ここまで選択複数選択します。

②データ貼付フォームのコピーをクリックします。

③データ貼付フォームの貼付をクリックします。

次に例2の↓ここから～↑ここまで選択で、①～③を試してみると④になります。

- ①例1でコピーすると行数＝3、列数＝4になります。
- ①例2の結合セルでコピーしても行数＝3、列数＝4になります。
- ④の貼付け結果を見ると、結合セルは1セルで判断して貼り付けています。

結合セルがある明細を取り込みます。
※ コピーする範囲が同じ結合行、結合列の繰返しが条件です。

データ貼付

コピーしたいセル又は、セル範囲を指定してクリック

貼付け先を名称最下行に移動→ する

貼付け先に新規明細行を追加→ する

※明細最終行の不足分は追加されます。

コピー

貼付

改行削除 ☒

空白削除 ☒

終了

行数

列数

注意) 右クリック貼付けは、出来ません。

結合セル＝単独セルとして取込み

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J					
1		※例1はセル結合無し、例2は行・列結合あり													
2		↓ここから													
3	例1	1	4	7	10	←選択セル範囲									
4		2	5	8	11										
5	1	3	6	9	12	↑ここまで選択									
6															
7		結合あり													
8		↓ここから													
9	例2	1	4	7	10	←選択セル範囲									
10		2	5	8	11										
11		3	6	9	12										
12															
13															
14															
15		※セルの列選択は左から5列までコピーされ、それ以上の列は無視されます。													
16		↑ここまで選択													

操作結果

コピー	No	ID	名称	摘要	数量	単位	単価	金額
挿入	1							
削除	2							
挿入	3							
削除	4							
挿入	5							
削除	6							
挿入	7							
削除	8							
材料合計								
労務合計								
付属品合計								

コピー	No	ID	名称	摘要	数量	単位	単価
挿入	1	1		4	7.0	10	
削除	2	2		5	8.0	11	
挿入	3	3		6	9.0	12	
削除	4	1		4	7.0	10	
挿入	5	2		5	8.0	11	
削除	6	3		6	9.0	12	
挿入	7						
削除	8						
材料合計							
労務合計							
付属品合計							
雑材料合計							
その他合計							
所要量合計							
総合計							

②コピーをクリックするとセルがアクティブになります。

③貼付をクリックするとデータが転送されます。

③貼付をクリックすると例1と同じ列にデータが転送されます。明細の結合を気にしないで挿入可能です。

例2の②コピーをクリックするとセルがアクティブになります。
※貼付け先を名称最下行に移動を「する」にしている場合

13ページで個別変更モード・14ページで一括変更モードの説明をします。

重要 10ページ設定フォーム、□枠のシート見出しで表示されたDATAシートを選択すると、一括でデータ変更可能です。変更する場合は以下に注意して下さい。正常動作しなくなる場合があります。

○ “A～E列と J列は検索で使用” 行を追加する場合は分類No.E****の前*2個が大分類後ろ*2個が中分類、J列No.が小分類番号です。同中分類番号のNo.は連番が必須です。

保存する場合は直接更新をクリックしてください。

フォーム説明-14

○ 分類変更フォーム

部材データを一括で同時変更します。

一括更新方法

○登録部材の内容を一括変更
部材検索フォーム(右図の右側)の
分類編集ボタンをクリックすると
分類変更フォーム(右図の左側)が
開きます。

変更したい部材を部材検索フォー
ムで①→②→③ の順で部材を選
択します。
図はVVF1.6-3Cを選択し→④一括変
更をクリックして→⑤をダブルクリッ
クした状態です。

緑色のボックスの文字と同様の文
字を部材から探します。
探す範囲を中分類に限定する場合
は④の右絞込OFFをクリックしONに
します。

○名称
この項目名は⑤でダブルクリックした
項目名が表示されます。
ここではVVF(ビニル絶縁ビニルシー
スケープル平形……)この内容を変
更して⑥確定をクリックすると部材検
索小分類に表示された部材名称が
すべて変更されます。

単価を一括変更
ここでは単価＝同一部材単価
の変更を説明。

○絞込ON
単価を変更する場合絞り込みをON
にしてください。
OFFのまま単価をダブルクリックする
と違う部材の同一単価が選択されま
す。

部材変更前に部材エクスポートを心
掛けてください。

一括更新ボタン
選択している部材と共通名称
共通単価等、同じデータを一括で
変更するモードのボタンです。

データ編集
このボタンから編集を開始します。
編集中は小分類クリックしても
明細へ転送されません。

⑤でダブルクリックした名称で同一名
部材が表示されます。
この部材は一括変更が可能です。

※選択された部材の中で別項目が
同一の場合、一括変更が可能です。

この項目が一括変更項目です。
「変更可能は・・・個」の値を変更し
⑤でダブルクリックした内容と同時に
一括変更ができます。

単価を一括変更
ここに一括変更する部材が表示さ
れます。
変更前に十分確認してください。

変更可能は一括変更が可能です。
ここでは歩掛のみ変更不可状態。

フォーム説明-15

○ 原価・単価計算フォームと明細画面ボタン

部材の単価と単価率設定、挿入・削除・コピー他

ボタン説明

○見積終了
現在の見積を保存して終了

○機能キー
機能キーフォームが開きます。
フォーム説明-01参照

○材工別
クリックすると材工別で作成中の見積を材工共にします。
材工別の単価欄は部材単価
材工共の左の単価欄は複合単価
右の単価欄は部材単価になります。

○コピー
コピー文字下の「挿」「削」を同時に選択するとその行をコピーします。
複数選択可。
①の明細コピーフォームが開きますので挿入したい行(先頭行)を選択して②挿入をクリックして下さい。
挿入分の行を追加して貼付けします。

○挿(挿入ボタン)
クリックまたは複数選択でその選択数分行を挿入します。

○削(削除ボタン)
クリックまたは複数選択でその選択

登録済みの見積リストを表示します。
見積を変更すると便利です。

※この色の文字はフォームが開きます。

単位・備考のリスト更新は各文字をクリックして下さい。

原価・単価計算フォーム
明細の単価をクリックするとフォームが表示されます。
材工共には単価(複合単価)と単価(材料単価)があります。

①単価(円)
選択中のセル数値を変更します。
単価を先行入力した場合②×③=①となるように③単価率を変更します。

②原価(円)と③単価率
原価または単価率を入力すると②×③=①単価とし、単価を書き換えます。

材工共の場合、単価欄(左)が複合単価になりますが上記同様、原価を直接入力以外原価変更しません。
原価優先の計算です。

原価・単価率変更後更新ボタンをクリックして下さい。

クリックすると単価リストを編集できます。

この色のボックスの数値は変更可能です。
個別で調整する場合に変更してください。
部材データを変更したい場合はフォーム説明-13、14を参照して変更してください。

材工別明細

材工共明細

備考欄リストの「小計」を選択するか、「小計」と入力すると小計行が追加されます。

意外と便利

見積元E2フォーム説明 終わります。

明細コピー

1

明細をコピーしました。下記要領で貼付けできます。

1. 挿入したい先頭行を選択します。(ID・名称・適用欄等)
2. 右の「挿入」ボタンをクリックします。
3. 繰り返し挿入するには1. 2. を繰り返す。

※「終了」または部材検索でコピーDATAは消去されます。

終了

挿入

2

原価・単価計算

部材原価・単価変更 ※当フォームの表示・非表示は機能キー「設定」の原価・単価フォームボタンで変更できます。

単価(円) 1

移動

終了

○材工別の部材単価を入力→

○部材の原価および単価率から変更

原価(円) 353 単価率 1 部材単価(円) 353 付属品等(円) 147.4

更新

部材の 2 細く / 数 3

部材歩掛 0.096 労務補正率 0.620 その他 OFF(円) .0 施工単価(円) 892.8 複合単価(円) 1390

注) 部材・労務原価設定による変更は、戻すボタンで元に戻せません。

見積終了		見積No	MM-202205-001	2022/05/07	1. 種目名		コンセント設備		2022/05/30(月)		小 計	56,269	総合計	60,000							
機能キー		種別No	種別1	株式会社 見積建設	2. 科目名				見積元 E2.03		単価率	1.00	その他	OFF							
材工別		工事名	コンセント増設工事		3. 細目名				見積電気		労務単価	15,000	歩掛合計	2.19							
コピー	No	ID	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考	歩掛	歩掛(円)	付属品	付属品(円)	雑材料	雑材料(円)	その他	その他(円)	所要量	所要量(円)	補正率	
挿	削	1	E0601-014	厚銅電線管(露出)	G 22	8.0	m	353	2,824		0.096	7,142.4	0.25	706	0.05	191	0.25	786	1.10	282	0.62
挿	削	2	E0608-003	合成樹脂製可とう電線管 PF管(隠ぺい) PF- 22		12.0	m	88	1,056		0.041	4,280.4	0.25	264	0.02	29	0.20	856	1.10	106	0.58
挿	削	3	E0706-038	プルボックス SUS製 被せ蓋 E端子付 防	SS200×200×150 WP-SUS	1.0	個	7,700	7,700		0.275	3,258.8			0.02	154	0.10	326	1.00		0.79
挿	削	4	E0711-001	金属製ボックス類 アウトレットボックス	四角中浅 102×102×44	4.0	個	270	1,080	塗代付 電着塗装	0.100	6,000			0.02	22	0.10	600	1.00		1
挿	削	5	E0803-005	ビニル絶縁ビニルシースケーブル(管内)	VVF 2.0mm-3C	12.0	m	147	1,764		0.021	3,024			0.03	58	0.2	605	1.10	176	0.8
挿	削	6	E0803-021	ビニル絶縁ビニルシースケーブル(ビット)	VVF 2.0mm-3C	30.0	m	147	4,410		0.017	6,120			0.03	146	0	1,224	1.10	441	0.8
挿	削	7	E0317-043	埋込形コンセント1連 新金プレート	ET 2P15A×2 アースターミナル付き	3.0	組	660	1,980		0.067	3,015			0.02	40		603	1.00		1
挿	削	8																1.00			1

見積終了		見積No	MM-202205-001	2022/05/07	1. 種目名		コンセント設備		2022/05/30(月)		小 計	56,274	総合計	60,005				
機能キー		種別No	種別1	株式会社 見積建設	2. 科目名				見積元 E2.03		単価率	1.00	その他	OFF				
材工共		工事名	コンセント増設工事		3. 細目名				見積電気		労務単価	15,000	歩掛合計	2.19				
コピー	No	ID	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考	労務費	単価	歩掛	付属品	雑材料	その他	所要量	補正率	
挿	削	1	E0601-014	厚銅電線管(露出)	G 22	8.0	m	1,390	11,120		7,142	353	0.096	0.25	0.05	0.25	1.10	0.62
挿	削	2	E0608-003	合成樹脂製可とう電線管 PF管(隠ぺい) PF- 22		12.0	m	478	5,736		4,280	88	0.041	0.25	0.02	0.20	1.10	0.58
挿	削	3	E0706-038	プルボックス SUS製 被せ蓋 E端子付 防	SS200×200×150 WP-SUS	1.0	個	11,100	11,100		3,258	7,700	0.275		0.02	0.10	1.00	0.79
挿	削	4	E0711-001	金属製ボックス類 アウトレットボックス	四角中浅 102×102×44	4.0	個	1,780	7,120	塗代付 電	6,000	270	0.100		0.02	0.10	1.00	1
挿	削	5	E0803-005	ビニル絶縁ビニルシースケーブル(管内)	VVF 2.0mm-3C	12.0	m	419	5,028		3,024	147	0.021		0.03	0.20	1.10	0.8
挿	削	6	E0803-021	ビニル絶縁ビニルシースケーブル(ビット)	VVF 2.0mm-3C	30.0	m	371			6,120	147	0.017		0.03	0.20	1.10	0.8
挿	削	7	E0317-043	埋込形コンセント1連 新金プレート	ET 2P15A×2 アースターミナル付き	3.0	組	1,680			3,015	660	0.067		0.02	0.20	1.00	1
挿	削	8															1.00	1

備考欄リストの「小計」を選択するか「小計」を

材工共明細

見積選択

作成年度を選択

見積名検索

得意先名検索

作成年度を選択

検索文字を入力

得意先名で検索

クリア

選択後閉

リスト終了

見積Data

読込む見積もりを選択して下さい。

見積No	作成日	工事名	得意先	総合計
MM-202205E-001	2022/05/27	コンセント増設工事	株式会社 見積建設	78,661
MM-2021-001	2021/06/21	コンセント増設工事	株式会社 見積建設	78,610

種別リスト

読込む種別を選択して下さい

リスト更新

リスト終了

種別 No	第1種別名	第2種別名	第3種別名	種別小計
種別1	コンセント設備			74,930